【事業監理の工夫】

# 地域住民へのアカウンタビリティーの向上

○ 事業を円滑に進めるためには地域住民の事業への理解が不可欠

○ ICの利用方法等が分かる路線概要チラシや工事の進捗状況がわかる工区だよりを作成・配布

**路線概要チラシ**

## 復興道路

国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所
三陸沿岸道路 事業促進ＰＰＰ

### 復興道路について

三陸沿岸道路は「復興道路」として平成23年度第三次補正予算において事業化された区間で、復興のリーディングプロジェクトとして一日も早い供用をめざし地域と一体となって事業を進めています。

このパンフレットは、三陸沿岸道路宮古市区間についてルートとＩＣの位置・利用方法をお知らせするものです。

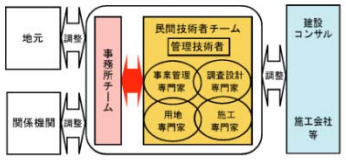



### 事業促進ＰＰＰについて

復興道路事業の円滑な進捗、事業マネジメントの充実等を図るため、民間の技術力を活用した事業推進体制を導入（事業促進ＰＰＰ※）し復興道路の早期開通を目指し事業を推進しています。

※PPP（Public Private Partnership）：官民連携・公民協働の意

＜事業促進ＰＰＰの事業体制＞




### 復興道路路線概要図（宮古市区間）




**工区だより**

がんばろう！東北

復興道路

## 宮古田老工区だより

発行　三陸沿岸道路事業促進チーム（宮古田老工区）
みちのくコンサルタント（株）、（株）復建技術コンサルタント、三協コンサルタント（株）、戸田建設（株）　4社JV

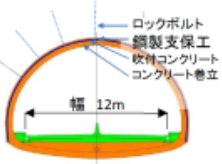
〒027-0029 宮古市藤の川4-1
国土交通省三陸国道事務所 東庁舎1-2
TEL0193-77-4731

今回、紹介する「田老第6トンネル」は下の位置図の場所になります。
この工事は三陸沿岸道路の新規事業化区間のトンネル工事のなかでは最も早い、平成25年7月に着手したものです。
トンネルは、2月10日現在で286mまで掘り進み、コンクリート巻立は116mまで出来ており、今年の春に完成の予定です。
トンネルは完成すると、工事用運搬路としても活用し、三陸沿岸道路の完成を促進させる予定です。

位置図




断面図




①掘削
大型機械（ブームヘッダー）で掘削します。



②鋼製支保工組立
壁面補強用に加工したH鋼を組みます。



③ロックボルト打設
壁面と地山をボルトで一体化します。



工事概要
トンネル　：長さ 294m　幅 12m、NATM（ナトム）工法
主要岩種：田老花崗閃緑岩

NATM（ナトム）工法とは
掘削した周辺の地山にボルトを打ち込み、地山自体の保持力を利用してトンネルを作る工法です。

三陸沿岸道路の一日も早い供用をめざし地域と一体となって事業を進めております。
一層のご理解とご協力をお願い致します。